

教科に関する調査 問題ごとの正答率等一覧表 [算数]  
三郷市教育委員会

・レベルはそのレベルを、上からABC順に三分割しています。  
・学力の伸びは、レベルを数値に変えたうえで昨年度との差を計算しています。  
(例) R5レベル11-A(33)－R4レベル9-B(26)=伸び(7)

集計結果

	学校数	児童生徒数	平均正答率	R3小4 レベル (平均)	R4小5 レベル (平均)	R5小6 レベル (平均)	令和4年度からの 同集団における 学力の伸び(平均)
埼玉県	691	45,857	56.5	5-A	6-C	6-B	1
貴教育委員会	19	1,114	61.3	6-C	6-B	7-C	2

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率	
			埼玉県	貴教育委員会
教科の領域等	数と計算	13	60.2	65.9
	図形	8	60.3	64.5
	変化と関係	7	53.9	57.2
	データの活用	5	44.3	49.7
評価の観点	知識・技能	26	58.9	63.9
	思考・判断・表現	7	47.5	51.5
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-
問題形式	選択式	21	58.6	62.3
	短答式	12	52.8	59.4
	記述式	-	-	-

困難度レベルは、およそ70%の確率で正答する学力レベル(三分割)に対応しています。

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	教科の領域等				評価の観点			問題形式			埼玉県		貴教育委員会		困難度レベル	
			数と計算	図形	変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)		
1(1)	異分母の分数のたし算を計算する	異分母の場合でも分数の加法を計算できる	○				○				○			77.3	1.2	80.7	1.0	5-B
1(2)	整数、小数の足し算、かけ算の計算をする	加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる	○				○				○			41.7	1.5	55.8	0.4	8-C
1(3)	商が一番大きくなるわり算の式を選ぶ	除数がより小さいとき、商が被除数より大きくなることを理解している	○				○				○			58.1	1.1	57.6	0.5	7-C
1(4)	与えられた場面について、□と△の関係を表した式を選ぶ	□、△を用いて数量の関係を式に表すことができる	○				○				○			89.7	0.3	92.2	0.2	3-A
1(5)	□と△で表された式で、与えられた△から□を求める	数量を記号で表した式を理解している	○				○				○			64.2	7.6	72.7	2.6	6-B
2(1)	整数の中から偶数、奇数を選ぶ	偶数、奇数について理解している	○				○				○			84.6	0.2	85.7	0.0	4-A
2(2)	文章を読み、分母がちがう分数のひき算の計算をする	異分母の分数の減法の計算ができる	○				○				○			36.1	9.7	37.7	5.0	8-B
2(3)	100倍した数と10でわった数を書く	100倍、1/10の大きさの数を表すことができる	○				○				○			66.9	2.8	76.0	0.6	6-B
2(4)	小数と等しい大きさの分数を選ぶ	小数を分数に直す方法を理解している	○				○				○			47.1	1.0	56.4	0.5	7-A
3(1)	小数のわり算の正しい答えを求める	小数の計算のしかたを考え、正しい答えを求めることができる	○				○				○			47.6	11.2	54.3	5.3	7-A

教科に関する調査 問題ごとの正答率等一覧表 [算数]  
三郷市教育委員会

・レベルはそのレベルを、上からABC順に三分割しています。  
・学力の伸びは、レベルを数値に変えたうえで昨年度との差を計算しています。  
(例) R5レベル11-A(33)－R4レベル9-B(26)=伸び(7)

集計結果

	学校数	児童生徒数	平均正答率	R3小4レベル(平均)	R4小5レベル(平均)	R5小6レベル(平均)	令和4年度からの同集団における学力の伸び(平均)
埼玉県	691	45,857	56.5	5-A	6-C	6-B	1
貴教育委員会	19	1,114	61.3	6-C	6-B	7-C	2

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率	
			埼玉県	貴教育委員会
教科の領域等	数と計算	13	60.2	65.9
	図形	8	60.3	64.5
	変化と関係	7	53.9	57.2
	データの活用	5	44.3	49.7
評価の観点	知識・技能	26	58.9	63.9
	思考・判断・表現	7	47.5	51.5
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-
問題形式	選択式	21	58.6	62.3
	短答式	12	52.8	59.4
	記述式	-	-	-

困難度レベルは、およそ70%の確率で正答する学力レベル(三分割)に対応しています。

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	教科の領域等				評価の観点			問題形式			埼玉県		貴教育委員会		困難度レベル
			数と計算	図形	変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	
3(2)	分母がちがう分数の大きさの比べ方の説明にあてはまる数や記号を選ぶ	分数の大きさを比べることができる	○				○			○			74.7	1.4	79.0	0.3	5-A
3(3)	文章を読み、最小公倍数を利用して時刻を求める	最小公倍数の意味について理解している	○				○			○			47.9	16.3	55.0	7.7	7-A
3(4)	示された図を基に、赤いテープと青いテープ、それぞれの長さを求める式を選ぶ	割合が1より大きい場合も小さい場合も、比較量の求め方が(基準量)×(割合)になることを理解している	○				○			○			46.6	1.9	53.7	1.0	7-A
4(1)	直方体の体積を求める	直方体の体積を求めることができる	○				○			○			89.2	2.2	91.2	0.6	4-C
4(2)	円柱の展開図の辺の長さが、見取図の対応する長さとして適切なものを選ぶ	円柱について、底面の円周の長さや展開図の側面の辺の長さが対応していることを理解している	○				○			○			73.8	0.8	75.9	0.1	5-A
4(3)	六角柱の展開図を選ぶ	六角柱について理解している	○				○			○			70.5	0.8	73.4	0.3	6-C
4(4)	三角柱の展開図において、見取り図の線分が展開図のどの部分に対応するか答える	三角柱とその展開図の位置関係をとらえることができる	○				○			○			13.2	1.6	12.6	0.4	9-A
4(5)	1立方メートルが何立方センチメートルであるかを、一辺の長さをもとに求める	体積の単位について理解している	○				○			○			48.5	6.2	55.5	2.1	7-A
5(1)	正八角形の頂点を結んでできる三角形がどんな三角形か選ぶ	円を用いて正多角形をかく際に、円の中心の角を等分してできる三角形の形をとらえている	○				○			○			79.4	1.1	83.0	0.1	5-C
5(2)	2本の対角線で切ったときにできる三角形が、すべて合同である四角形を選ぶ	既習の四角形について、対角線によってできる三角形を合同の観点からとらえ分類することができる	○				○			○			58.1	1.3	66.1	0.3	7-C

教科に関する調査 問題ごとの正答率等一覧表 [算数]  
三郷市教育委員会

・レベルはそのレベルを、上からABC順に三分割しています。  
・学力の伸びは、レベルを数値に変えたうえで昨年度との差を計算しています。  
(例) R5レベル11-A(33)－R4レベル9-B(26)=伸び(7)

集計結果

	学校数	児童生徒数	平均正答率	R3小4レベル(平均)	R4小5レベル(平均)	R5小6レベル(平均)	令和4年度からの同集団における学力の伸び(平均)
埼玉県	691	45,857	56.5	5-A	6-C	6-B	1
貴教育委員会	19	1,114	61.3	6-C	6-B	7-C	2

分類・区別集計結果

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率	
			埼玉県	貴教育委員会
教科の領域等	数と計算	13	60.2	65.9
	図形	8	60.3	64.5
	変化と関係	7	53.9	57.2
	データの活用	5	44.3	49.7
評価の観点	知識・技能	26	58.9	63.9
	思考・判断・表現	7	47.5	51.5
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-
問題形式	選択式	21	58.6	62.3
	短答式	12	52.8	59.4
	記述式	-	-	-

困難度レベルは、およそ70%の確率で正答する学力レベル(三分割)に対応しています。

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	教科の領域等				評価の観点			問題形式			埼玉県		貴教育委員会		困難度レベル
			数と計算	図形	変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	
5(3)	台形の面積を三角形や平行四辺形の面積の公式を使って考え、面積の組み合わせとして正しいものを選ぶ	台形の面積の求め方を理解している	○				○		○			49.7	4.7	58.1	2.3	7-B	
6(1)	伴って変わる量の規則性を見つける	三角形の底辺の長さが一定のときの、面積と高さの関係について考えることができる		○			○		○			83.4	2.1	86.2	0.4	4-A	
6(2)	比例の表から、特定の数値を求める	比例関係について理解している		○		○			○			91.6	2.1	93.4	0.2	3-B	
6(3)	割合を表した式の意味を選ぶ	割合の求め方について理解している		○			○		○			47.3	3.0	50.9	0.7	7-A	
6(4)	速さと時間から道のりを求める	速さの意味について理解している		○		○			○			15.8	14.2	19.1	6.1	9-A	
7(1)	全体と部分の関係を百分率で表したものを選ぶ	全体と部分の関係を百分率を用いて表すことができる		○		○			○			47.6	4.0	55.4	0.9	7-A	
7(2)	2つの数量の関係を表している図を選ぶ	場面と図とを関連付けて、2つの数量の関係を理解している		○		○			○			48.3	5.1	52.6	1.5	7-A	
7(3)	アメリカの人口密度の式を完成させる	単位量あたりの大きさの考え方を理解している		○			○		○			43.3	8.9	43.2	3.0	8-C	
8(1)	与えられた表から平均を求める	平均を求めることができる			○	○			○			81.5	5.9	84.6	1.6	5-C	
8(2)	平均から、全体の量を求める	平均の意味を理解している			○	○			○			72.8	11.7	80.7	4.8	5-A	
9(1)	円グラフから読み取れることを選ぶ	円グラフの特徴とその使い方を理解している			○	○			○			30.2	8.0	35.3	2.3	9-C	
9(2)	円グラフにある百分率から数値を求める	円グラフの見方についてと百分率について理解している			○	○			○			25.2	29.5	34.6	12.7	9-B	
9(3)	帯グラフをもとにして、数量の変化をまとめた表を完成させる	複数の帯グラフを比べることができる			○	○			○			11.5	15.9	13.4	4.4	9-A	